

議 会 運 営 委 員 会

日 時：平成24年6月28日（木）

相模原市議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録		
平成 2 4 年 6 月 2 8 日		開 会
		午後 3 時 0 0 分
		閉 会
		午後 4 時 1 3 分
出席者	委 員	小 林 倫 明 大 田 浩 栄 裕 明 大 崎 秀 治 小野沢 耕 一 阿 部 善 博 △森 繁 之 ○沼 倉 孝 太 小 池 義 和 小 林 正 明
	議 員	議長 中 村 昌 治 副議長 野 元 好 美 オブザーバー 五十嵐 千 代 臼 井 貴 彦
欠席者	な し	
説明 の た め の 出 席 者	な し	
事務局 職 員	佐藤議会事務局長 河本議事課長 小宮同課担当課長 川端同課副主幹 竹下同課主査 北野同課主査 西原議会総務課長 渋谷政策調査課長	

協 議 事 項	意見書の提出について その他
傍 聴 者	あり
署 名	委員長 沼 倉 孝 太

午後3時00分 開会

○沼倉委員長 ただいまから議会運営委員会を開会する。

出席委員は10名で定足数に達している。

これより日程に入る。

—————◇○○◇—————

意見書の提出について

○沼倉委員長 意見書の提出についてを議題とする。

各会派から事前に提出された案文の取りまとめについて、正副委員長に一任され、作成させてもらい、各委員の皆様へ配付させてもらった。それでは、内容等について意見等があったら伺う。

共産党。

○大田委員 意見書の下4行、「基本に、速やかにすべての離着陸訓練を硫黄島で完全実施すること及び、米空母艦載機の厚木基地からの移駐を確実に実施すること」という一文を削除してもらいたい。

移駐ということは、夜間の騒音で相模原市民もかなり苦しんだ、その痛み、苦しみをほかに投げてしまう意味もあるし、ここの部分が入っていると、「夜間を含めた離着陸訓練を二度と行わないことを基本に」という、騒音被害に関する意見書の趣旨と外れるのではないかと思うが、いかがか。

○沼倉委員長 それでは、まず、皆さんに意向を聞いていく。

新政クラブ、いかがか。

○小野沢委員 我が会派では、今回の問題が市民に対し非常に苦痛を与えたということで、この意見書を出すということが基本で、きょうは、各会派から意見が出たものを正副委員長に一任して確認するというので、この意見書については会派で了解しているので、このまま進めてもらうという考え方である。

○沼倉委員長 民主・新無所属の会。

○小池委員 私どもの会派も、本日、確認している。また、正副委員長に取りまとめをお願いしているので、この案文でいいと思っている。

○沼倉委員長 公明党。

○栄委員 私どもも、会派で検討して案も出させてもらって、その後、正副委員長にまとめてもらったものを会派で審議して、いいということになったので、このとおりでお願いしたいと思っている。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 基本的には正副委員長にお願いしたし、しかも私どもで出した案文はもっと簡素なものだったが、プラスアルファされて、別にそこはないと思うので、これで結構である。

○沼倉委員長 みんなのクラブ、いかがか。

○小林（倫）委員 うちも基本的にはこれでいいと思う。

○沼倉委員長 案文について、各会派に伺った。共産党は、ここを削除してほしいということだが、皆さん、賛成ということだが、どうか。

共産党。

○大田委員 やっぱり、納得、了承できない。意見書を上げたいのはやまやまだが、やはり、この一文が、騒音被害に関する意見について、内容を薄めているのではないか。また、移駐ということも、相模原市民の苦しみをほかに投げるようにもとれるので、やはり削除してもらいたいと思う。

○沼倉委員長 内容について議論する場ではなくて、いわゆるこの案文に賛成してもらいたいということだが。

市民連合。

○小林（正）委員 私、基本的にはこの案文で結構だと思うが、今、共産党から問題提起みたいな形で意見が出た。ただ、削除する文言が「米空母艦載機の厚木基地からの移駐を」という、この「移駐」が他の国内、例えば岩国基地へ行くということを意味しているのかというのを全体で確認すれば、私は文面でそうではないと解釈できると思うので、そういった意味で、そのことを書いてあれば、やはり国内でのキャッチボールみたいなことで、余り意味がないと思うが、外国に行くこと、アメリカ本土に帰ってもらうことだって意味しているとも——そこまでは言っていないが、国内のほかへ移ることを意味しているわけではないという解釈の中では、このことが、本会議で意見書に反対する理由になるのかどうか。どうしてもなるのだったら、正副委員長で調整してもらおうということもあり得るが、

皆さんの意向で、満場一致が可能であれば、大きな趣旨が離れなければ、若干の文言の修正ぐらいはいい。ただ、きょうは、ここで結論を出すということを前提にしているので、余り議論しないで、即決できるような内容だったかというところはある。

○沼倉委員長 いわゆる中身というよりも、取り扱いについてということでしょうか。

共産党に歩み寄ってもらうのが一番だが。

共産党。

○大田委員 逆に、ここの文を削除して、「米政府に対し、厚木基地において、夜間を含めた離着陸訓練を二度と行わないことを強く要請することを求めるものである」という、この文に対しては、なぜ、だめなのか聞きたい。こちらの方が、厚木基地での米空母艦載機による着陸訓練と騒音被害に関する意見書というタイトル、内容としては合致すると思う。

○沼倉委員長 基本的には、正副委員長が案文を一任されて、ここは合意してもらう一つの手続の場と思っている。

公明党。

○栄委員 共産党の主張される気持ちはわかるが、我々は、この文章に違和感も疑問も全くない。削除するという気持ちもない。しかも、これはあした採決するということで、きょう、ここできちんと結論を出さないといけない状況にあらうかと思う。これは正副委員長に各会派からの案を持ち寄って一任したという状況で、それをきょう、ここに出されるということに、若干違和感を持っている。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 正副委員長でまとめられた過程の中で、共産党から問題提起があったこの2行ぐらいが、特に問題のあるような、例えば移駐の中身として、厚木基地から岩国へ移してくれといった意味を含めて、ここに書かれたわけではないということを確認したい。それでいいのではないか。

○沼倉委員長 民主・新無所属の会。

○森委員 私と委員長2人で話し合っただけでまとめさせてもらったが、神奈川県議会に出された意見書も含めて、少し参考にさせてもらった部分が

あって、文面を見てわかるとおり、岩国に持っていけという文章はどこにも入っていないわけで、移駐あるいは硫黄島での完全実施というのは、今ここで議論する話ではなくて、既に決まっている話で、それを速やかにとということをつけ加える分には、全体に騒音被害を受けているという流れの中では自然なのかなということをもとに、委員長と2人で相談して、こういう文面にさせてもらった。当然、全会派から案文が出されたものも少しずつチョイスして、その思いを載せているつもりなので、どこかで削除するということになる、会派の思いが伝わらないという部分も考慮しながら、ほぼすべての会派の意見を抽出させてもらって、総合的につくった案文なので、ぜひとも了解してもらいたい。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 そういった趣旨ということが理解できたので、ここで結論を出してもらえればと思う。

○沼倉委員長 新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブも先ほど小野沢委員から発言させてもらったとおりだが、厚木基地での訓練を行わないということが、硫黄島の話とか、移駐の話とか、密接にかかわっているということで、会派の中では、正副委員長に一任した部分で、今回の案文で合意を得て、この場に臨んでいるし、他の会派の意見を伺ったところ、共産党以外は、ほとんどこれで合意ができていると思うので、できたら共産党も、党の考えとか、主義、信条もあるとは思いますが、その部分も含めて、この案文のままでも、決してその部分を曲げて賛成するということにはならないのではないかと私どもは感じているので、ぜひもう一度持ち帰って、あしたの朝9時とかいうことも、これまで議運としては、やはりこれだけのことがあって、意見書を出そうとせっかく合意した話なので、何とか出せる方向を見出したいので、そういう努力をしてもらえないかと思うが、その辺いかがか。

○沼倉委員長 共産党。

○大田委員 前回、こちらからも意見書を提出したいと伝えているので、出したいのはやまやまだが、やはり、ここの部分だけは削除してもらいたいので、こちらとしても持ち帰るが、ほかの会派でも、いま一度、議論してもらいたいと思う。

○沼倉委員長 公明党。

○栄委員 今の共産党の発言は、持ち帰っても考えは変わらないように聞こえたが、そのようにとらえていいか。

○沼倉委員長 共産党。

○大田委員 変わらない。

○沼倉委員長 ほかに。

新政クラブ。

○小野沢委員 共産党だけがそういう意見で、今、持ち帰ったらどうかという折衷案もあった。基本的には、この原案で、もう一度確認してほしいという意味だと思うが、それでどうしても変わらないということになれば、全会一致にならない。みんなが出したい、気持ちはわかってほしい、こういう中で、共産党だけが同調できないということになれば、基本的には意見書提出については考えざるを得ない。相模原市議会として何としても出したいということなので、このまま持ち帰ってもらって、再度、協議をして、返事をしてもらうということをお願いする。

○沼倉委員長 今、新政クラブから、ぜひ出したいと。それについて、共産党から意見が出ている。それを持ち帰って、会派の中でよく検討してもらってという意見もあった。これについてはどうか。

共産党。

○大田委員 ぜひとも、再考をお願いしたいところだが、共産党としては、やはりこの2行を削除という形で、ぜひお願いしたいと思う。

○沼倉委員長 というよりも、今の話は、持ち帰って、もう一度考え直してもらえないかという提案だったと思う。

共産党。

○大田委員 恐らく、持ち帰っても変わらない。こちらとしては、やっぱり削除という形で求めていく。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 可能な限り共産党の協力が、共同歩調をとれば一番いいが、ただ、今の話だと、あしたまで延ばす理由は全くないという結論が出たような感じがする。共産党には申しわけないが、流れとして、正副委員長に文面を委任したわけだし、持ち帰っても変わらなければ意味

がないから、変わる可能性があれば持ち帰ってもらうという形で、委員長と副委員長で采配して、その判断をしてもらって、だめだったら、ここでみんなに諮って結論を出すという方向でお願いする。

○沼倉委員長 新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブとしては、正副委員長に一任して、本日確認して、あした、意見書を上げるという流れで認識しているので、文面を変えて、もう一度協議し直して、そこからまた文案を考えてというのは、現実的に、なかなか難しい中で調整してきた。やはり、あれだけの騒音被害があったわけだから、何としても意見書を上げたいという気持ちは、皆さん一緒だと思う。相模原市議会として意見書を上げようとまとまって、協力できないのかと、一つの会派だけだからということを使うつもりは全くないし、思いは尊重したいと思うが、削除できないから持ち帰りもないというのはないと思う。こうした議運での議論をきちっと伝えてもらって、あした、もう一度、話し合ったが、やっぱりというのであれば、まだ理解できるところもあるが、私どもの会派でも、これはまとまっているものだという認識で来ているので、それがこんな形でだめだったとはできないという思いがあるので、ぜひ、もう1回持ち帰って、こうした議論があったということを尊重してもらいたいと思うが、いかがか。

○沼倉委員長 議事課長。

○河本議事課長 今、持ち帰りという話があって、もし、共産党で持ち帰ってもらえるということであれば、あしたは本会議ということで、日程的なことで、例えば、あした議運を9時に開催するとして、9時30分から本会議ということで、開催時間がうまく合うかということがある。もし、そこでまとまって、文案を多少訂正するとなれば、そこで文案を全部確認して、印刷とかの時間があるので、本会議の開催が、かなりずれてくる可能性がある。事務局としては、もし、持ち帰りということであれば、きょう、このまま暫時休憩して検討してもらえればと思うが、いかがか。

○沼倉委員長 今、事務局から、時間的なことで話があった。それを含めて、共産党、暫時休憩した中で返事がもらえるか。

○大田委員 では、一度持ち帰って議論してみる。

○沼倉委員長 休憩する。

午後 3 時 2 0 分 休憩

午後 3 時 5 5 分 開議

○沼倉委員長 再開する。

共産党、持ち帰ってもらったが、結論はいかがか。報告をお願いする。

○大田委員 共産党としては、やはり、この 2 行を削除してもらいたいという形で決まった。

○沼倉委員長 今、共産党からはそういう意見だった。いかが取り計らうか。

新政クラブ。

○阿部委員 これだけ議論して、ぜひ歩み寄れる部分がないかということを持ち帰ってもらったが、そういう余地がないということなので、私どもの会派としては、やはり大事な話だから、意見書で提出したいと思うので、賛同される会派の方がいたら、一緒に提出してもらいたいと思う。

○沼倉委員長 今、新政クラブからそういう意見が出たが、各会派の意向を聞いていく。

民主・新無所属の会はどのように考えているか。

○小池委員 私どもも、当初から、この案文でいいと主張させてもらっている中で、満場一致で出せない形であるならば、ほかの方法でも、ぜひ出したいという気持ちがある。

○沼倉委員長 公明党、いかがか。

○栄委員 私どもも同じである。この文面のままで、複数の会派で出せるようであれば、非常に大事な意見書なので、ぜひ出してもらいたいと思う。

○沼倉委員長 市民連合、いかがか。

○小林（正）委員 同感である。

○沼倉委員長 みんなのクラブ、いかがか。

○小林（倫）委員 共産党は、今回はいたし方なしということで残念だが、意見書提出には賛同してもらいたいと思う。

○沼倉委員長 各会派の意向を聞いた。慣例集の中で、「ある会派から意見書を提出したいという意向があるときは、議長に申し出て、議会運

営委員会に諮り、原則として全会派が一致したときは全会派共同提案として議案を提出するが、一致が見られないときは提出を見合わせることにしている。ただし、どうしても提出したいという意向があるときは、複数の会派が賛成すれば例外として提出を認めるが、単国会派のみによる提出は遠慮してもらっている。」という慣例がある。改めて、本意見書を提出することに賛成の会派の意向確認をしたいと思う。

新政クラブ。

○阿部委員 提出したい。

○沼倉委員長 民主・新無所属の会。

○小池委員 私どもも提出したい。

○沼倉委員長 公明党。

○栄委員 私どもも提出でお願いします。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 同意見である。

○沼倉委員長 みんなのクラブ。

○小林（倫）委員 提出に同調させてもらう。

○沼倉委員長 それでは、厚木基地での米空母艦載機による着陸訓練と騒音被害に関する意見書については、皆さん出したいという意向なので、出すということで確認をさせていただいた。

議事課長。

○河本議事課長 議運の委員ではない、オブザーバーの意向はいかがか。

○沼倉委員長 オブザーバーで、みんなの党と無所属の議員が出席しているので、意向を確認したいと思う。

みんなの党、いかがか。

○五十嵐議員 賛成する。

○沼倉委員長 臼井議員。

○臼井議員 私も賛成させてもらう。

○沼倉委員長 意向が確認できた。それでは、意見書の提出については、賛同する会派により提出させてもらいたと思うが、いいか。（「はい」と呼ぶ者あり）

議事課長。

○河本議事課長 基地対策予算の増額等を求める意見書については、前回の議運で全会派に合意してもらっているので、議運の委員全員の名前で提出させてもらい、提案説明は沼倉委員長にお願いします。

厚木基地での米空母艦載機による着陸訓練と騒音被害に関する意見書については、今、賛成があった会派ないしオブザーバーの名前で提出することになる。提案説明については、その中の代表者にお願いできればと思う。また、この後、署名をお願いできればと思う。

○沼倉委員長 案文についてだが、上から５行目、「米空母ジョージワシントン」の「ジョージ」の後に「・（中点）」がつく。そこを修正したいと思う。

それでは、以上で本件を終わる。

—————◇○○◇—————

その他

○沼倉委員長 その他について、何か発言等があったらお願いします。
市民連合。

○小林（正）委員 実は、オスプレイの７月配備がどうも現実的になりそうで、皆さんご存じのとおり、最近、座間市議会でも、危険な垂直離着陸輸送機MV 22 オスプレイ配備及び低空飛行訓練計画の撤回を求める決議が満場一致で可決されたという情報もあり、私ども提案する立場からすると、大変急で申しわけない気持ちでいっぱいだが、きょう、余裕があれば持ち帰ってもらって、皆さんの賛同が得られて、あした決議ができれば一番ありがたいが、どうしても無理だということであれば、時間的にやむを得ないと思う。

○沼倉委員長 今、市民連合から、オスプレイのことについて決議文を出したらどうかという発言があった。これについて皆さんいかがか。

新政クラブ。

○阿部委員 確かに、非常に危惧している問題ではある。私どもも、これまで意見書等の話をさせてもらうときは、案文を用意したり、皆さんの会派に持って帰ってもらうだけの十分な準備をしたりして話をさせても

らっている。その辺あったらと思うが、どのような状況か。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 座間市議会で決議された文面は持っているのですが、もしよければ、事務局を通して、今、皆さん方に配付させてもらえればありがたいと思う。

○沼倉委員長 新政クラブ。

○阿部委員 新政クラブとしては、座間市議会の決議の話はよく承知しているが、それはあくまで座間市議会の話で、本市としてどうあるべきかという議論をしなければいけない。当然、オスプレイに関しては、住宅が密集する都市部である本市上空で危険な訓練、低空飛行の話とかが出ていて、それはあってはならないことは同じ認識だが、十分な調査とか調整とか、今回の厚木基地の米空母艦載機の着陸訓練と騒音被害に関する意見書のときも、これだけいろいろと調整に手間暇かけてというか、議論を重ねてきた経緯もあるので、問題とか課題、また、思いという部分は十分理解できるし、同じ気持ちである部分は多々あるが、やはり意見書として上げる以上、今回の厚木基地の米空母艦載機の意見書も、全会一致の重みを考えて、これだけ調整してきて、最後は例外の例外として、全会派一致を見ないような形でもということだったが、それだけ努力してまとめてきているので、やはり時間的なものとか調整の準備の状況を見ると、会派では今回は難しいと判断している。

○沼倉委員長 ほかに何か意見等があるか。

では、一通り聞いていく。

民主・新無所属の会、いかがか。

○小池委員 私どもも、今、市民連合の提案を受けて、大変危惧している問題ではあるが、やっぱり日程上、調整上の問題、大変厳しい状況であると思うので、今回は、なかなか賛同できない部分があるのではないかと考えている。

○沼倉委員長 公明党。

○栄委員 私どもも同じである。オスプレイに関しては非常に興味も持っているし、世界じゅうで事故が起きている状況もある。しかしながら、ここで急遽、時間のない中でということはどうかという気持ちを持ってい

る。しっかりと調査をして、相模原市の意見書案をきちんと会派でつくってという手順を踏んでするべきと思っているので、今回は厳しいと思っている。

○沼倉委員長 共産党。

○大田委員 オスプレイに関しては、墜落事故も相次いでいるので、提出できるならした方がいいと思うが、相模原に与える影響とか、今全くわからない状況なので、そのあたりを調査して行った方がいいと思う。

○沼倉委員長 みんなのクラブ。

○小林（倫）委員 時間的な問題というのは、どの程度の難しさかわからないところもあるが、もし、きょうじゅうに案文を用意して、あしたの朝、再度ということであれば、せっかくの提案だし、うちとしては持ち帰っても構わない。結局、時間的な問題に帰結すると思う。

○沼倉委員長 市民連合。

○小林（正）委員 貴重な時間をもらって、意向確認までしてもらって済まない。今回は突然で、時間的な問題があるが、ただ、7月中に配備する可能性があることは事実で、配備後も撤去を求める可能性もあるので、皆さん方に検討してもらって、次回にでも提案できればという気持ちを持っているので、今回は撤回したいと思う。

○沼倉委員長 今、市民連合から、皆さんの意向を聞きながら、日程的に厳しいのではないかということ、また、次の機会ということも見据えて、今回は撤回という話が出たので、そのように取り計らう。

ほかに何かあるか。

新政クラブ。

○小野沢委員 前回の議運で、今回の意見書の取り扱いを正副委員長に一任したわけだが、一任について、事務局へどうということなのか確認しておきたいと思う。

○沼倉委員長 議事課長。

○河本議事課長 今回の件は、前回の議運で、たしか6月15日までに各会派に意見書の案を正副委員長に出してもらって、その取りまとめを正副委員長に任せるということで決まったと思う。一任となると、基本的には、その後の処理については、ある程度任せるような形が考えられると

いう感じは持っている。

○沼倉委員長 新政クラブ。

○小野沢委員 今後もそういうことが多いと思うので、案文とか、決議とか、各会派から意見が出て、最終的には正副委員長に一任するという
ことだろうから、その意味について、おのおのが確認してもらえればと思
う。

○沼倉委員長 ほかに何かあるか。――

ないので、その他を終わる。

次回の議会運営委員会は、6月29日本会議終了後に開会する。

以上で議会運営委員会を閉会する。

午後4時13分 閉会